

# 芦別市耐震改修促進計画

報告書

芦別市

# はじめに

平成 23 年 3 月 11 日午後 2 時 46 分頃に、三陸沖を震源とするマグニチュード 9.0 の東北地方太平洋沖地震が発生し、津波などにより東北地方を中心に甚大な被害がもたらされました。

本計画における「全国どこでも起こりうる直下型の地震」は、過去の事例と防災上の観点から 6.9 と想定されていますが、今後の国の方針により、想定震度ほかの基準が変更されることも考えられます。

その際には、迅速に本計画の見直しを行うこととします。

また、本計画は、地震の揺れによる建物の被害防止と人的被害の防止を目的に策定していますが、地震により引き起こる可能性がある津波や火災に対して、避難場所の位置や避難ルートの再確認などに対応できるものとしています。

## 1 計画策定の目的

全国的に大規模地震が頻発する中で、国は、建築物(昭和 56 年以前に建築されたもの)の耐震改修を促進することを最も重要な課題と位置づけ、耐震改修促進法・建築基準法の改正や税制・統合補助金などによる支援制度を充実させてきている中、北海道では、「耐震改修促進法」第 5 条の規定に基づき、「北海道耐震改修促進計画」を策定し、平成 18 年度から 27 年度までの 10 年間の計画を定めたところです。

これらの動きから、芦別市においても市民に対し、耐震改修の重要性・緊急性について積極的に普及啓発を行うとともに、改修に対する支援制度も検討していく必要が生じてきました。そこで、公共並びに民間建築物の耐震化を図るための計画を策定し、計画的な耐震対策を実施することにより、地震による被害を減少させ、市民が安心して生活できるまちづくりを進めることを目的とし耐震改修促進計画を策定します。

## 2 計画期間

計画期間は平成 24 年度から平成 27 年度までとして、社会情勢の変化などで見直しの必要性が生じた場合は、適宜計画内容の見直しを行うものとします。

## 3 対象区域と対象建築物

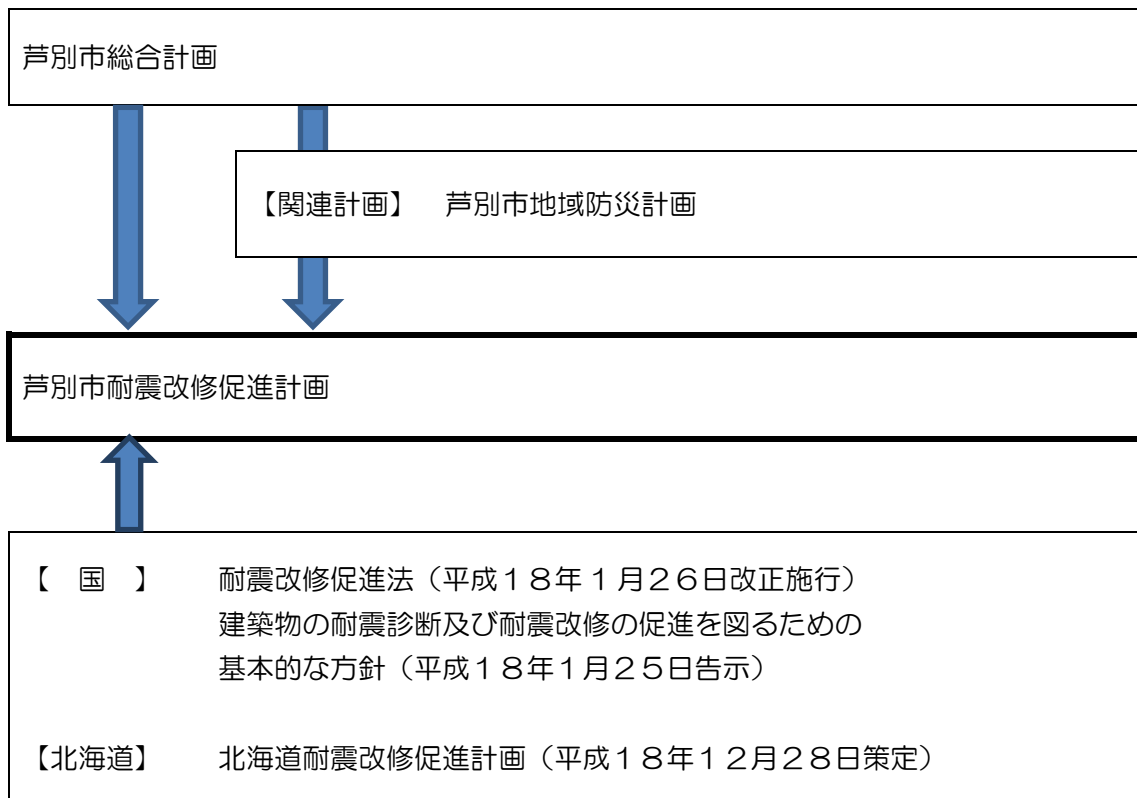
計画対象区域は、芦別市行政区域全域とします。

対象とする建築物は、建築基準法における新耐震基準（昭和 56 年 6 月 1 日施行）以前に建てられた既存の住宅・建築物とします。

## 4 計画の位置づけ

本計画は、耐震改修促進法第5条第7項において「市町村は、基本方針及び都道府県耐震改修促進計画を勘案して、当該市町村の区域内の建築物の耐震診断及び耐震改修の促進を図るための計画を定めるよう努めるものとする。」とされており、これに基づき策定します。

また、本計画は、耐震改修促進法、北海道耐震改修促進計画の内容を踏まえるとともに、芦別市総合計画、芦別市地域防災計画と連携を図りながら策定します。



## 5 芦別市の概要

### (1) 位置・地勢

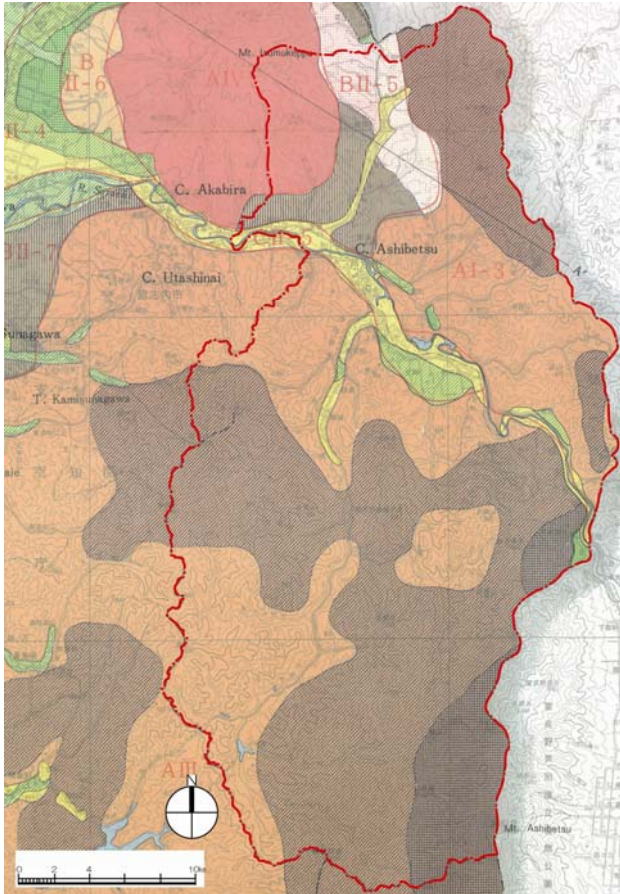
芦別市は北海道のほぼ中央に位置し、東端は東経 142° 22′ 20″、西端は東経 142° 2′ 59″、南端は北緯 43° 12′ 16″、北端は北緯 43° 39′ 38″ に位置しており、市の東と北は夕張山地により上川郡及び空知郡と接し、南と西は夕張山地の支脈により囲まれ、夕張市、美唄市等に接した地勢であり、面積は 865.02k m<sup>2</sup>となっています。

市の中央部と何棟から北西に流れる空知川及び南北からこれに注ぐ野花南川、芦別川、パンケ幌内川その他の小河川沿いに発達した平地、台地部に農耕地と市街地が形成されています。

図 O-1 芦別市の位置

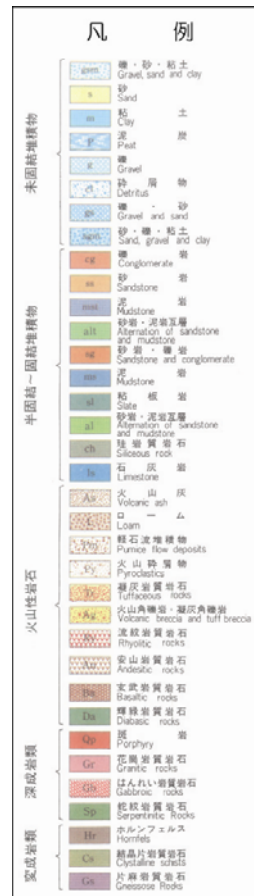
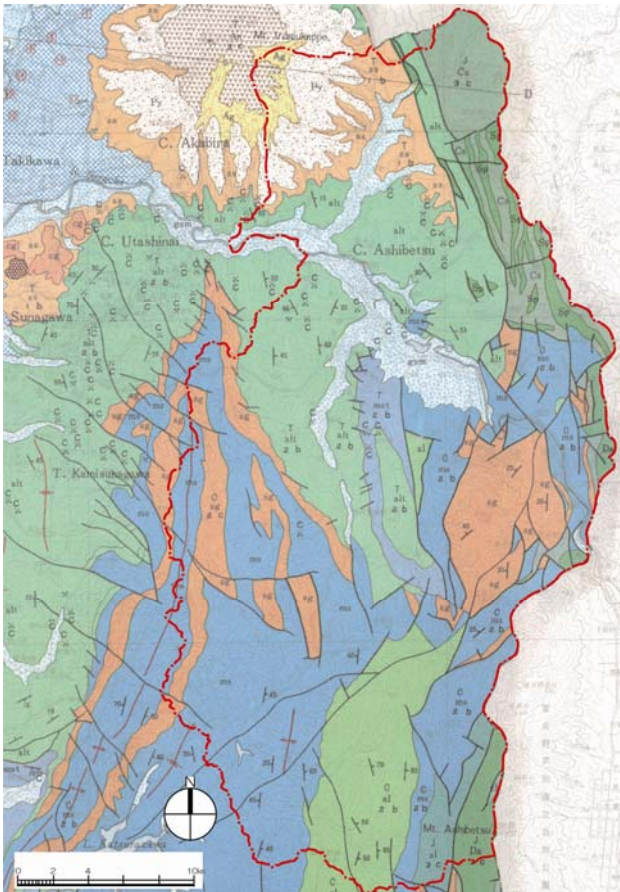


図 O-2 芦別市地形図



資料：国土庁土地局国土調査課（土地分類図・北海道Ⅲ空知支庁）

図 O-3 芦別市地質図



資料：国土庁土地局国土調査課（土地分類図・北海道Ⅲ空知支庁）

## (2) 気象

気象は、夏季 25 度以上、冬季氷点下 20 度以下の日があるなど、夏季と冬季の寒暖の差が非常に大きい内陸性気候を示しています。年間降水量は 1,100 mm 程度で、雨の多い月は台風の影響を受ける 8 月頃です。冬期間の降雪量は、年によっては最深積雪 100 cm 以上を記録している状況にあり豪雪地帯となっています。

風向は、春から秋にかけて北風系が多く、冬期には南風系が多くなっています。

表 O-1 芦別市の気象概況

観測年	西暦	気温			年降水量 (mm)
		平均気温 (℃)	最高気温 (℃)	最低気温 (℃)	
平成 12 年	2000	7.0	36.4	-23.0	1,458
平成 13 年	2001	7.6	30.4	-18.9	1,292
平成 14 年	2002	6.9	31.6	-23.0	1,031
平成 15 年	2003	7.5	30.7	-19.9	842
平成 16 年	2004	7.6	34.4	-20.5	1,106
平成 17 年	2005	6.3	32.2	-18.9	988
平成 18 年	2006	7.9	33.5	-16.0	1,088
平成 19 年	2007	7.5	35.7	-22.4	843
平成 20 年	2008	8.2	34.0	-15.1	922
平成 21 年	2009	7.3	33.1	-17.2	1,033

資料：2010 年版芦別市統計書

### (3) 災害履歴

芦別市では、地震による大きな被害は記録されておりませんが、今後も地震が発生しないとは言いきれるものではないため、地震に対する備えを怠らないことが重要です。

年月日	種別	被害状況等
S56.8.4~6	8月豪雨	昭和56年8月3日から6日にかけての前線と台風12号による北海道の大雨による災害（災害対策本部設置） 降雨量 350 mm（時間最大 21.0 mm） 被害額 住家被害（床上 56 世帯 床下 214 世帯）（避難世帯 97 世帯一部炊き出し） 476 千円 非住家被害（全壊 2 棟） 550 千円 農業被害（農地、農作物、農業用施設） 1,020,961 千円 土木災害（河川、道路、橋りょう） 662,439 千円 林業被害（治産、林道） 106,500 千円 衛生被害（水道） 6,662 千円 商工被害（商業、その他） 65,101 千円 教育関係施設被害（小・中学校、その他） 2,015 千円 その他の被害（都市下水道、公園、その他） 31,244 千円 計 1,895,947 千円
S56.8.22~23	台風 15 号	昭和 56 年 8 月 21 日から 24 日にかけての台風 15 号と前線による大雨による被害 被害額 住家被害（一部破損 12 世帯） 972 千円 非住家被害（全壊 2 棟） 1,300 千円 農業被害（農作物、営農施設） 17,258 千円 商工被害（工業） 6,620 千円 教育関係施設被害（小学校等） 365 千円 その他の被害（公園） 636 千円 計 27,151 千円
S60.9.1	台風 13 号	昭和 60 年 9 月 1 日の台風 13 号による北海道中部以南の大雨による災害 土木被害 1 件 892 千円
S63.8.25~26	大雨	8 月 24 日から 27 日にかけての前線による大雨の被害 降雨量 138 mm（時間最大雨量 31.0 mm） 被害額 住家被害（床下浸水 5 世帯） 0 千円 非住家被害（一部破損） 1,400 千円 農業被害（農地、農作物、農業用施設） 45,483 千円 土木被害（道路、河川） 122,715 千円 林業被害（林道） 600 千円 計 170,198 千円
H2.6.13	大雨	6 月 13 日の集中豪雨による被害 降雨量 56 mm（時間最大雨量 24.0 mm） 被害額 住家被害（床下浸水 4 世帯） 0 千円 非住家被害（床上浸水 2 件） 0 千円 農業被害（農地、農作物、農業用施設） 255,382 千円 土木被害（道路、河川） 118,550 千円 観光施設被害 15,468 千円 計 389,400 千円
H12.7.25~27	大雨	7 月 25 日の豪雨と風による被害 被害額 住家被害（一部破損 2 世帯） 110 千円 農業被害（農作物、営農施設） 25,379 千円 土木被害（道路） 14,800 千円 林業被害（林道、その他） 8,200 千円 衛生被害 2,011 千円 公立文教被害 3,227 千円 社会教育施設 340 千円 社会福祉施設 255 千円 その他 1,761 千円 計 56,583 千円
H13.9.11	大雨	平成 13 年 9 月 9 日からの秋雨前線及び 9 月 11 日の台風 15 号による大雨被害 住家被害（床下浸水 1 世帯） 0 千円 非住家被害（一部破損） 4,032 千円 農業被害（ほ場冠水） 0 千円 林道被害 210 千円 土木被害（河川・道路） 16,210 千円 計 20,452 千円